

USB メモリへの保存(セーブ)手順書の作成

I. 操作の手順について、操作画面を手順書に貼り付けながら作成する。

- (1) USB メモリを用意する。(パソコンの USB コネクタにセット)
- (2) 保存するファイルから保存先(USB メモリ)のあるディレクトリを選択する。
- (3) 保存を指示する。(新規:名前を付けて保存、 上書き:上書き保存)
- (4) 保存されたか確認のため、USB メモリ内のファイル名を確認する。

手順画面を貼りつける方法

- ①手順書作成ファイルの「挿入」タブ、図の項の「スクリーンショット」を使用する方法
- ②手順画面が表示されている状態で、キーボードの「ファンクション」キー+「PrtSc」(プリントスクリーン)を使用する方法

1. パソコンの USB コネクタに USB メモリを挿入する。
コネクタと USB メモリ側のコネクタの向きに注意

2. セーブ先の指定方法。

①作成したファイル(ワード、エクセル共)の「ファイル」タブを選ぶ

The screenshot shows the Microsoft Word interface with the 'File' tab selected. The ribbon includes options like 'Home', 'Insert', 'Design', 'Layout', 'References', 'Mailings', 'Review', and 'View'. The main document area contains a form titled '私の記録' (My Record) with the following fields:

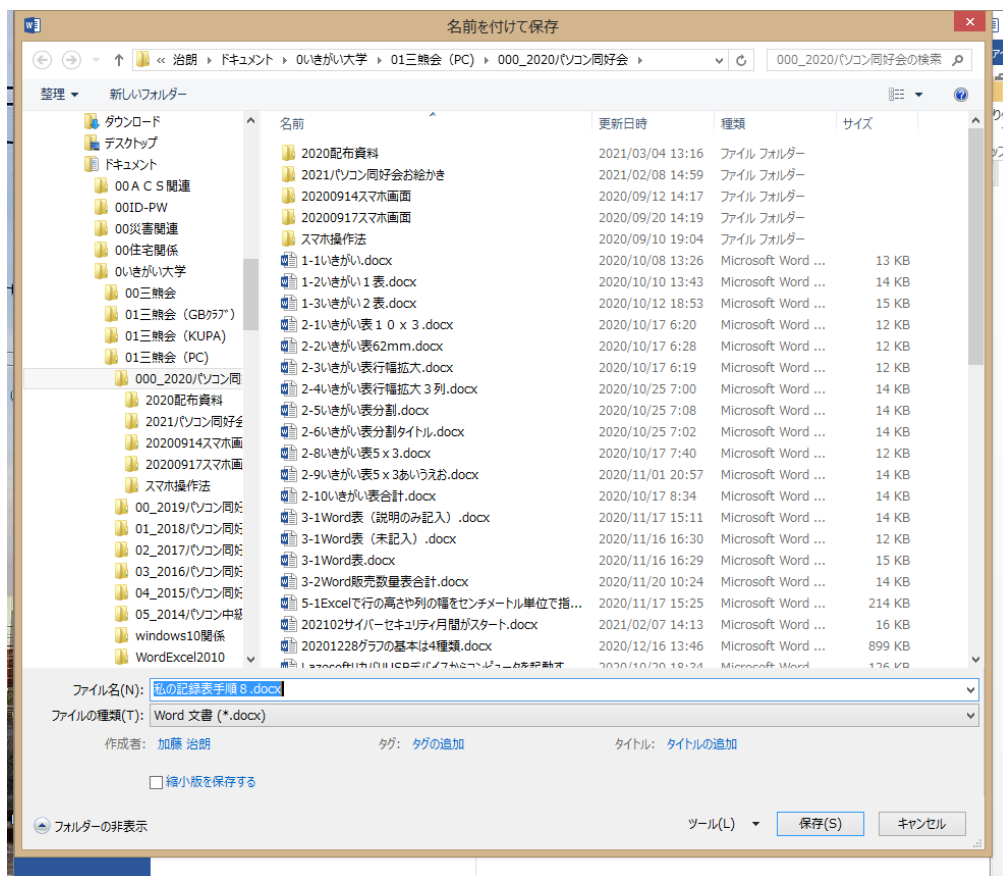
年 月 日現在	
ふりがな	
氏名	
生年月日	
ふりがな	電話

②「名前を付けて保存」をクリックする。

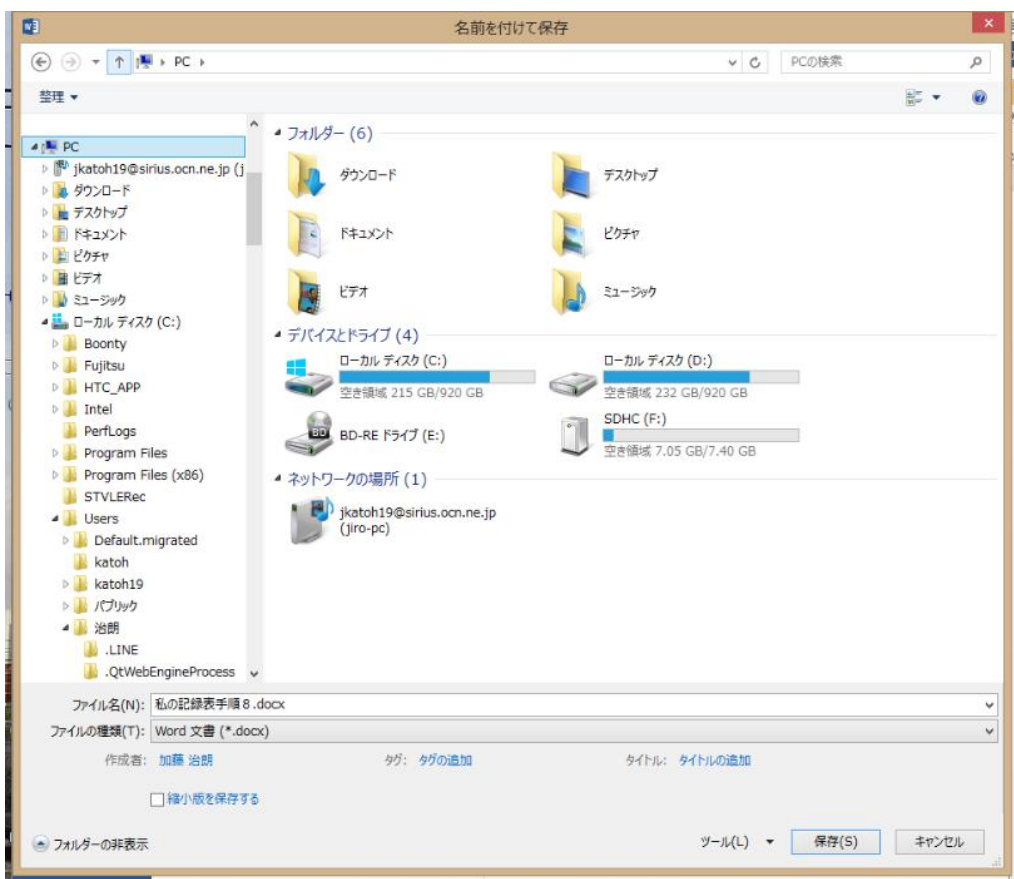


③「コンピューター」を選択する

④「参照」をダブルクリックして選択する。



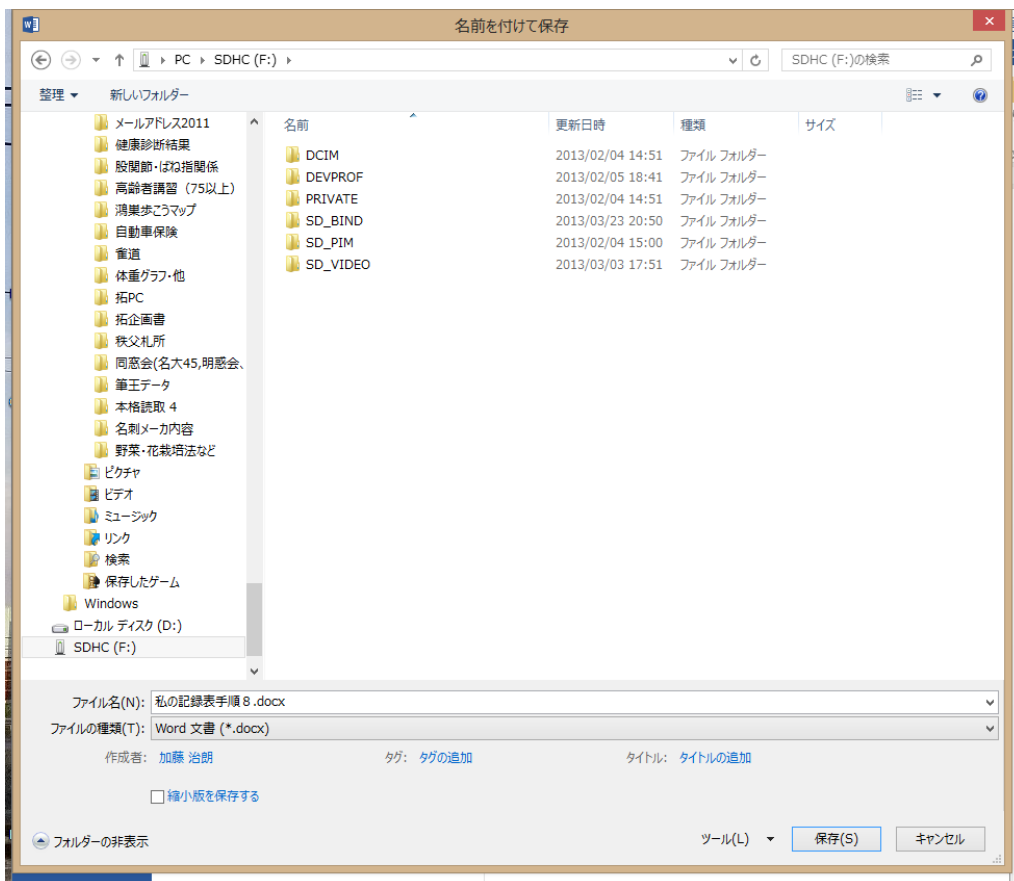
⑤上部のディレクトリを示す部分の左側の上矢印↑を順次クリックして、「PC」の所まで、ディレクトリをさかのぼる。



⑥「PC」の下にある「デバイスとドライブ」の項目内の「USB メモリ」をクリックする。

本例では“SDHC”と表示されているが、それぞれ”取り外しのできるメモリ”とかメーカー名“HITACHI”, “TOSHIBA”などと表示される場合もある。

3. 保存の指示



①上記の手順で、USB メモリを指定すると、USB メモリ内に保存されているフォルダやファイルの一覧が表示される。

ファイル名記入欄に新しいファイル名を記入して。「保存」をクリックする。

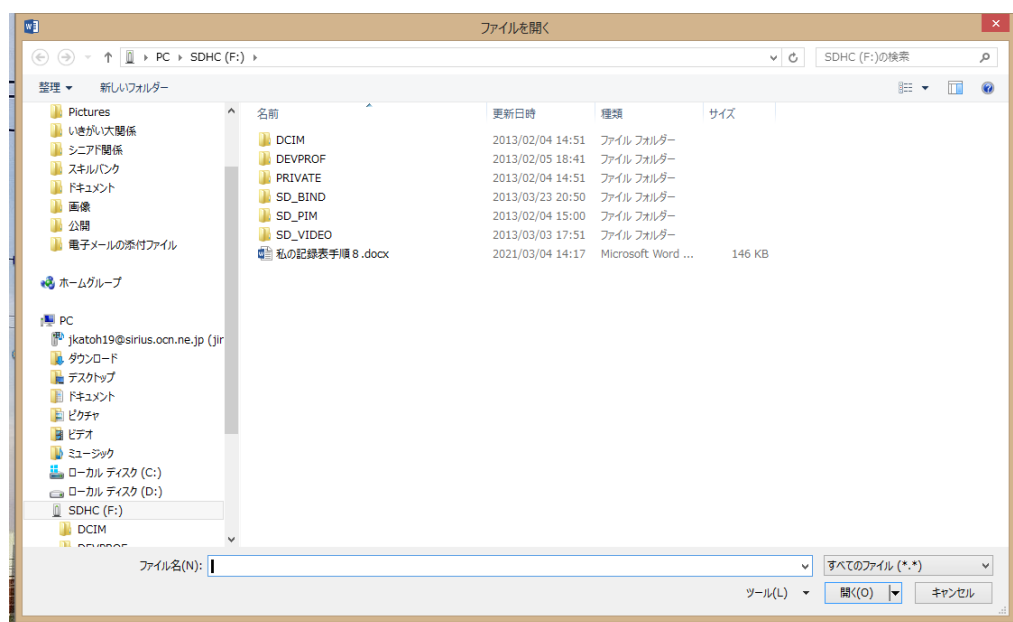
⑧これで指定したファイル名でUSB メモリーに保存が完了。

4. 保存の確認



①作成ファイルが USB メモリに保存されたかを確認するには、「ファイル」タブをクリックし、左図の「開く」を選択し、「コンピューター」、「参照」をダブルクリックする。

②保存の場合と同様にディレクトリの表示場所に「PC」の下に USB メモリの名前が（本例では“SDHC”）表示されている状態で、下部に、保存したファイル名が表示されていたら、保存が完了しており OK。



③この手順は、USB メモリに保存したファイルを読みだすときも同様。